

令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	105	学校名	仙台市立長命ヶ丘小学校	校長名	小林 道治
------	-----	-----	-------------	-----	-------

1 取組のタイトル, テーマ

『地域や学校の自然・校内環境に目を向けて、自分たちでできることをしよう』

2 取組の紹介

(1) 児童会の活動

○花植え

本校では、年に2回、春と秋に学年ごとに花壇に花植えを行いました。春には「サルビア」「マリーゴールド」、秋には「チューリップ」「パンジー」「ビオラ」を植えました。各学年で協力して水やりや雑草抜きなどの活動を行いました。

○全校奉仕作業

11月には、全校奉仕作業として、1年生から6年生までのグループで校庭や校舎の周りの落ち葉拾いを行いました。6年生が中心となって協力しながら、一生懸命に落ち葉を拾い集め、きれいで整った学校にしようと意欲を持って活動していました。



(2) 環境委員会の活動

環境委員会では、主に緑化活動や校内の環境整備, SDGs について啓発する活動に取り組みました。

○緑化活動

各学年で植えた植物がよく育つように、花壇の草抜きや水やり, カラス除けのかかしの作成を行いました。また、来年度の緑化活動に向け、枯れた植物を抜いて花壇を耕すなど整備活動も行いました。

○校内の環境整備

運動会や陸上記録会の練習に向けて、校庭の草や石を取ったり、雪が降った日には雪かきをしたりするなど、安全な環境になるように整備を行いました。

○SDGs についての啓発活動

SDGs の取り組みについて、自分たちが学校や家でできることを話し合いました。ギガスクール端末で作成したスライドを使って校内放送を行い、全校児童にも周知しました。また、節水や節電, ゴミの分別についてのポスターを作成し、一年を通して校内に掲示して呼びかけています。



(3) 各学年の取り組み (4年生)

理科の学習では、ヘチマを育てました。ヘチマが枯れないように自分たちで水をやったり、実ができた後は、たわしを作ったりしました。作ったたわしは手洗い場の掃除に使うことで、自然や生きものを大切にするということについて学びました。



3 取組の成果 (児童の変容)

児童会の活動では、全校で自然に関する活動を行うことで、一人一人が学校の環境について考えるよい機会になったと思います。また、植物を育てる活動を通して自然愛護の気持ちが醸成されてきたと思います。

環境委員会の活動では、高学年が中心となり SDGs について、自分たちができることを主体的に話し合う姿が見られました。周りにも発信することで、環境に対する興味・関心が高まったと思います。

次年度もねらいを明確にした体験的な学習を通して、環境に対する意識づくりを進めていきたいと思っています。